

平成28年度

石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅱ期）

「学習指導の改善を図る研修会」

本研修会は、石巻市内小・中学校の教員を対象に平成27年度から本格的にスタートし、今年で2年目となります。石巻市の各小中学校が抱える学校課題の解決に向けて、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から教員の指導力向上を図り、その結果、学級や学校の力が向上し、学力も向上していくという認識のもと、取り組んでいるものです。

第11回、第12回研修会

○日時 平成29年1月5日（木）、6日（金）9：30～16：30

○場所 石巻市遊楽館 文化ホール

○講師 5日（木） 弘前医療福祉大学保健学部 教授 小玉 有子 先生

6日（金） 早稲田大学大学院教職研究科 教授 高橋あつ子 先生



☆研修内容

5日午前：カウンセリングの基礎

午後：児童生徒、保護者面談で大切なこと

6日午前：校内体制のモニタリング PBIS

午後：児童生徒の実態把握 個別の指導計画

小玉教授



高橋教授



<受講者の声>

・カウンセリングのスキルの有無で、こんなにも子どもの思いの引き出し方に違いがあるのかと驚いた。経験から、子どもの思いを受け止める、共感する、傾聴することの大切さを学んでいたが、スキルを身に付けられないと改めて感じた。学校が抱える課題はたくさんあり、子どもや保護者とカウンセリングする機会も増えている。職員会議等の場で、スキル向上のための伝講をしっかり行いたい。

（小学校教諭）

・全職員で研修したかった内容でした。「一人一人を大切にすると簡単に言いますが、理解することが難しくなっています。いくつかの質問形式を教えてくださいました。子どもと関わる上でとても大切な質問であると思います。全職員で研修したいと思います。保護者面談の仕方は大変参考になりました。マニュアル+チェックリストの作成に取り組みたいと思います。ありがとうございました。（中学校管理職）

・よく分からないところを残したままPBISを行ってきたので、今回の講義を受けて理解が深まりました。回を重ねるごとに全体像が見えてきて、一つ一つの取組の必要性も感じられるようになりました。研修Ⅰについては、特別支援コーディネーターの先生と相談しながら受けたかったと感じました。研修Ⅱについては、個別の指導計画を実際にかくことができ、勉強になりました。特別支援以外の学級の生徒にも目を向け、一人一人に対して細やかな指導を学校全体で心掛けていきたいと思っています。（中学校教諭）

・初めて研修会に参加させていただきました。PBISについて興味を持ち、理論と具体的な手立てを、実例を取り上げて学ぶことができました。本校にも発達障害の児童がおり、学習や生活面での指導の参考とすることができました。また、長期目標、短期目標の立て方について、具体的に分かりました。

（小学校管理職）